

2021年度年度入学生 教養科目カリキュラムマップ

【ディプロマポリシー】

【知識・技能】

1-1 自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2-1 自らの専門領域を越え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。

2-2 健全な社会を維持するため、健康に留意し、健全な精神を育成する態度を身に付けている。

【主体性・多様性・協働性】

3-1 主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。

3-2 多様化が進む社会において、多様な対話力を身に付けている。

【教養科目のカリキュラムポリシー】

①知性や感性を磨き、学問研究や社会生活の基盤となる知識や技能を身に付け、心身の健康を育成するための科目を開講しています。

②社会的・職業的自立を支援するために、就職活動に関する科目だけでなく、生涯にわたって自己のキャリアを築き、対話力の育成をするための科目を開講しています。

③専門科目以外の学問領域を学ぶことにより、幅広い知識や多角的思考力および柔軟で想像性に富んだ力を身に付け、創造性に繋がるような科目を開講しています。

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	教養科目の学修成果 (◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)				
		1年次 2021		2年次 2022			ディプロマポリシーの項目番号				
		前期	後期	前期	後期		1-1	2-1	2-2	3-1	3-2
心身の健康科目群	教育学		○		○	①将来を担う子ども達を愛情豊かに育てていくには何が大切か、どのようにすればよいのかを深く理解することができるようになる。 ②幼児教育に関する幅広い知識や多角的思考力および柔軟で創造性に富んだ思考力を身に付けることができるようになる。	◎	○			
	※ 生命の倫理		○	○		生物学や医学を初めとする関連分野における生命に関する諸問題について、倫理的に考える力を身につけることができる。	◎				
	衣生活の知識		○		○	①状況に応じて快適で美しい衣服の着装ができる。 ②衣服素材やインテリア素材に関する知識を身に付け、生活するうえで適切な取り扱いができる。 ③布を使って身の回りの小物を作ることができる。	◎	○			
	食事学	○		○		①「食べる」ということの根本的な意味が理解できる。 ②日常の食事作りや食材の購入、外食時に、授業で学んだ知識を実践に生かすことができるようになる。		○	◎		
	食品科学		○		○	①食生活と健康について、幅広い知識を身に付けることができる。 ②日常生活において、食品の正しい情報を理解し選択することができる。			◎		
	体育講義	幼	○	○	○	①生涯にわたり継続的に運動を行うことの重要性を理解し、自らの生活の中に取り入れることができる。 ②これらの実践に伴う知識や態度を養うことができる。			◎		
	体育実技	食	○	幼	○	①スポーツやレクリエーション実践を通して体力の維持向上ができるようになる。 ②生活の中に運動習慣をとりいれ実践できるようになる。			◎		
	* 健康づくり・生活支援入門	○				①スポーツ科学を中心とする領域において、適切な思考・判断(思考力)ができる。 ②健康の維持・増進の分野において活躍が期待でき、さらに、国民の保健・医療・福祉のため、自己の知識・技術・経験をもてる限り提供することができる。 ③社会人として、自ら考えて行動する能力(自立心)・周囲と情報を交換し共有する能力(コミュニケーション力)・問題を適切な方向に解決していく能力(問題解決力)を身に付けている。			◎		
* 健康づくり・生活支援ワークショップ		○			①子育ての営みに関係する事柄が列記できる。 ②文化について具体的に述べることができる。 ③現代の子育ての特徴が説明できる。 ④現代の子育ての問題、課題、解決のための対策について考えることができる。 ⑤子育てについて、自分の考えを述べることができる。 ⑥課題のグループワークに積極的に参加し、自分の意見を述べることができる。 ⑦各ライフステージにおけるセクシュアリティの意味と課題について議論し、自己の考えを述べることができる。 ⑧様々な健康レベルにおけるセクシュアリティの意味と課題について議論し、自己の考えを述べることができる。 ⑨BASE KOBEのピアサポート活動や当事者運動を通して、HIVに関する知識を獲得し、セクシュアルヘルスについて考えることができる。 ⑩セクシュアルマイノリティの当事者運動や社会の動向を通し、LGBTQに関する知識を獲得し、課題を考えることができる。 ⑪様々なライフステージや健康レベルにある人のセクシュアリティに関する支援について議論し、自己の考えを述べることができる。 ⑫各テーマについてのグループワークに参加し、他者の意見を聞くことで、自己の考えとの違いを理解し、より深く思考することができる。	◎					

2021年度年度入学生 教養科目カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	教養科目の学修成果 (◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)					
		1年次 2021		2年次 2022			ディプロマポリシーの項目番号					
		前期	後期	前期	後期		1-1	2-1	2-2	3-1	3-2	
心身の健康科目群	* 健康・生活支援指導論実習		○			①スポーツに関する幅広い知識と技術が習得できる。 ②健康づくりと運動との関係に関する知識を身につけることができる。 ③状況や対象に合わせた行動をとることができる。 ④状況に応じて適切にコミュニケーションをとることができる。 ⑤自分たちの考えを周囲に伝えることができる。			◎			
コミュニケーション科目群	異文化コミュニケーション	○		○		①異文化コミュニケーションの知識を深め、友好的なコミュニケーションができるようになる ②異なる価値観や多様性を尊重することができるようになる ③異文化適応性を養うことができるようになる	◎					
	心理学 I	○		○		自分の日常生活における心理学を科学的視点で捉えることと、自分以外の人の知覚・感覚に対する想像力を身につけていく。	◎					
	英会話	○	○	○	○	①Students will improve in conversation skills which can be used in a number of different situations. ②Students will learn about natural conversational phrases and understand when to use them. ③Students will become more fluent speakers and better listeners.						◎
	英語コミュニケーション(a) (担当: 谷山 澤子)	総幼		食		①テキストの内容を正確に把握することができる ②テキストの要旨を英語でまとめることができる ③論理的なエッセイを英語で書くことができる	◎					
	英語コミュニケーション(a) (担当: 上野 和廣)	総幼		食		①基本的な文法や語法などをもう一度しっかり学習し、英語でのコミュニケーションができるようになる。 ②社会に出てから英語が必要になったとき、独学で英語力を向上させる学習方法を身に付けることができる。						◎
	英語コミュニケーション(a) (担当: 大川 弘子)	総幼		食		①自己紹介や自分自身について、大学生活や身の回りのできごとについて簡単に述べるようになる。 ②場面に基づいて、短い会話の全体的な内容を把握できるようになる。 ③相手の話す内容に集中して耳を傾けることができるようになる。 ④理解が不十分な場合、積極的に相手に確認することができるようになる。 ⑤発音や会話練習に積極的に参加できるようになる。 ⑥聞き取った内容を書き留めることができるようになる。 ⑦分からない単語や表現について、辞書などで調べることができるようになる。						◎
	英語コミュニケーション(a) (担当: 杉田 米行)	総幼		食		①自己紹介や自分自身について、大学生活や身の回りのできごとについて簡単に述べるようになる。 ②場面に基づいて、短い会話の全体的な内容を把握できるようになる。 ③相手の話す内容に集中して耳を傾けることができるようになる。 ④理解が不十分な場合、積極的に相手に確認することができるようになる。 ⑤発音や会話練習に積極的に参加できるようになる。 ⑥聞き取った内容を書き留めることができるようになる。 ⑦分からない単語や表現について、辞書などで調べることができるようになる。						◎
	英語コミュニケーション(b) (担当: 谷山 澤子)		総幼		食	①テキストの内容を正確に把握することができる ②テキストの要旨を英語でまとめることができる ③論理的なエッセイを英語で書くことができる	◎					
	英語コミュニケーション(b) (担当: 上野 和廣)		総幼		食	①基本的な文法や語法などをもう一度しっかり学習し、英語でのコミュニケーションができるようになる。 ②社会に出てから英語が必要になったとき、独学で英語力を向上させる学習方法を身に付けることができる。						◎
英語コミュニケーション(b) (担当: 大川 弘子)		総幼		食	①自己紹介や自分自身について、大学生活や身の回りのできごとについて簡単に述べるようになる。 ②場面に基づいて、短い会話の全体的な内容を把握できるようになる。 ③相手の話す内容に集中して耳を傾けることができるようになる。 ④理解が不十分な場合、積極的に相手に確認することができるようになる。 ⑤発音や会話練習に積極的に参加できるようになる。 ⑥聞き取った内容を書き留めることができるようになる。 ⑦分からない単語や表現について、辞書などで調べることができるようになる。						◎	



2021年度年度入学生 教養科目カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	教養科目の学修成果 (◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)				
		1年次 2021		2年次 2022			ディプロマポリシーの項目番号				
		前期	後期	前期	後期		1-1	2-1	2-2	3-1	3-2
コミュニケーション科目群	* 人間関係づくりワークショップ		○			①コミュニケーションの理論やスキルを習得することができます。 ②他者の気持ちを「受容」「共感」することを味わい、自分自身や他者への気づきを深めることができます。 ③感情のコントロールについて理解し、他者からのフィードバックを受け入れ、冷静に対話することを学び、自己成長することができます。 ④プレゼンテーションが求められる場面や初めて出会う人の前で、不安や緊張をコントロールし、自信を持ってパブリック・スピーキングができるよう習得します。 ⑤これまで一過性の個人的体験であった自己のコミュニケーションスタイルを見直し、新たな行動様式を身につけることができます。 ⑥これからの人間関係づくりを肯定的にとらえ、可能性に満ちた学生生活のきっかけになることを目標とします。					◎
感性を磨く科目群	造形美術	○	○	○	○	自分の思い描いているイメージをコンピュータ上で具現化できるようになる。		◎			
	芸術表現学		○		○	①芸術表現の歴史について理解することができる。 ②現代社会の中で必要な美的感覚と感性を養うことができる。	◎				
	音楽鑑賞	○		○		①音楽を聴き、楽しむことができる。 ②音楽を聴き、そこにあるメッセージや基本的な特徴を感じとることができる。 ③感じたことを言葉や絵で表現することができる。	◎				
	日本文学		○		○	①授業で取り上げた古典文学作品の魅力を知り、深く理解・鑑賞できるようになる。 ②日本の古典文学史に関する基礎的な知識を身につけ、概要を説明できるようになる。 ③日本の古典文学作品が後世へ与えた文化的影響について見聞を広め、その価値を理解できるようになる。	◎				
	日本の伝統文化	○		○		学ぶ、鑑賞する、体験するなど、さまざまな角度から「茶の湯」の世界を探求し、日本の美をみつめることができる。					◎
キャリアアップ科目群	情報リテラシー(コンピュータの活用) (担当:堀 桂太郎、清光 英成、平田 真弓)	○				① パソコンの基本操作ができる。 ② ワードを使った文書処理ができる。 ③ インターネットを適切に利用できる。 ④ セキュリティ、情報倫理について理解し、正しく行動できる。	◎			○	
	キャリアへのアプローチⅠ	○				①学生が女性として社会に参画するとはどういうことかを把握することができる。 ②仕事を核にしたライフデザインを描くことができる。 ③自己分析ができるようになる。 ④さまざまな職業と多様な生き方の選択があることを理解することができる。				◎	
	キャリアへのアプローチⅡ		○			①就職サイトが活用できるようになる。 ②エントリーシートが書けるようになる。 ③就職試験のためのマナーとして、文書・電話・Eメールが的確に使えるようになる。 ④面接で自信をもって自己PRができるようになる。 ⑤就職のためのグループディスカッションができるようになる。 ⑥自らの希望・実力に見合った就職先を見つけることができるようになる。				◎	○
	インターンシップ	○	○			①企業等での実習・研修体験を通して、社会性や価値観を養い、自分なりの「働くこと」に対する考えを持つことができるようになる。 ②授業で得た知識を社会で生かせることができる。 ③実体験によって、主体的な職業選択能力を高めることができるようになる。				◎	○
	※ キャリアと生活		○	○		キャリアに必要な汎用能力を身につけ、職業的および社会的に自立心を培うことができる。				◎	

2021年度年度入学生 教養科目カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	教養科目の学修成果 (◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)							
		1年次 2021		2年次 2022			ディプロマポリシーの項目番号							
		前期	後期	前期	後期		1-1	2-1	2-2	3-1	3-2			
社会を理解する科目群	子どもと社会		○		○	①問題提起されたテーマに関して、基礎的な知識を得るリサーチ力を培うことができる。 ②リサーチしたうえで、自分の考えをまとめ、最終発表の場で発表できる表現力を身に付けることができる。		◎				◎		
	神戸学	○		○		神戸の歴史と文化を習得し、教養を深める。	◎							
	日本の生活文化		○		○	①様々な日本の生活文化について学び、日本人が昔から伝え育んできた日本の心を見直して見ることができる。 ②将来の日常生活に活かすことができるような日本の生活文化の知識を習得することができる。	◎							
	ボランティアの実践 (担当:上野 和廣)	○	○	○	○	①ボランティア活動に必要とされる責任感を身に付けることができる。 ②社会で必要とされるコミュニケーション力を実践的に身に付けることができる。						◎		
	ボランティアの実践 (担当:塚田 みちる)	○	○	○	○	ボランティア活動への責任感と、社会での実践的なコミュニケーション力を身に付けることができる。						◎		
	ボランティアの実践 (担当:古田 貴美子)	○	○	○	○	①ボランティアの意味を理解し、他者の助けのありがたさを考えることができる。 ②有償、無償の概念にとらわれず、与えられた仕事への責任感を身に付けることができる。 ③様々な状況の人と関わり、コミュニケーションする力を身に付けることができる。						◎		
	日本国憲法	○	○	○	○	憲法の原理を正しく理解し民主主義政治の主人公として振る舞えるようになる。	◎							
	* 地域コミュニティ入門	○				① 地域コミュニティの抱える現代的課題の理解 ② 考える力の構築 ③ コミュニケーション能力(話す力・聴く力・調整する力)の向上							◎	
	* 防災・防犯入門	○				防犯や防災についての見識を備え、いざという時に行動できる							◎	
	* 防災・防犯ワークショップ		○			防災・防犯活動について説明することができる。(知識) 日頃から防災・防犯に関するニュース等に関心を持つ。(態度・習慣) 防災・防犯活動における危機管理能力を身につける。(技能)							◎	
	* 防災・防犯指導論実習		○			身近な犯罪被害からの防止対策の習得、市民救命士の習得、自然災害等の原因や結果を自分で考える基礎知識を身につける							◎	
	* 地域連携インターンシップ I				○	①参加したプログラムの趣旨や参加者を理解し、その意義を第三者に説明できる。(知識・態度) ②地域連携に参画して、地域の問題点を挙げる事ができる。(知識) ③活動内容や目的、自身はどのように貢献できたかを、客観的に評価し、表現できる。(技能・態度) ④連携事業の多様なプログラムへの参画や自主活動を通して、新たに企画をたてる際の手順を学び、説明できる。(知識・技能)							◎	
	* 地域連携インターンシップ II				○	①参加したプログラムの趣旨や参加者を理解し、その意義を第三者に説明できる。(知識・態度) ②地域連携に参画して、地域の問題点を挙げる事ができる。(知識) ③活動内容や目的、自身はどのように貢献できたかを、客観的に評価し、表現できる。(技能・態度) ④連携事業の多様なプログラムへの参画や自主活動を通して、新たに企画をたてる際の手順を学び、説明できる。(知識・技能)							◎	
※ 社会と生活		○	○			社会と関わりをもちながら、生活をするうえで必要な基礎的知識、思考力、自立心を養う。						◎		

※ 放送大学との単位互換科目

\* ポーアイ4大学共通教養科目